



須マイル

題字・デザイン=望月 佑奈さん(中里4)
元気いっぱいの運動会、須マイルもポップで
迫力があるようなイメージで作成しました。

編集・発行
一般社団法人 須津地区まちづくり協議会
事務局：須津まちづくりセンター
TEL：34-0004

須津地区まちづくり協議会 広報
令和5年 12/1 No.20



新しい体育祭に向けて

体育部長 鈴木一弘（川尻2）

4年ぶりの開催となった体育祭、大きな怪我もなく無事終了することができました。

各町内体育班長、まちづくり協議会役員、須津中学校ボランティア、幼稚園・保育園、そして選手の皆様、参加していただきありがとうございました。

体育祭についてのアンケートでは、「よかった」「満足した」という意見が多くありましたが、一方では「高齢化」「区民体育祭のやり方」「係の負担が大きすぎる」などについての意見もあり、早急に見直していく必要があることが明らかになりました。体育部では、11月より「令和6年度須津地区体育祭」に向けた話し合いを進めています。須津地区の皆様が、気軽楽しんで参加できるようなスポーツのイベントを考えていきたいと思ひます。



そうだまつりに行こう！

実行委員長 山元光則（神谷緑）

来場者の声

キャッチコピーに誘われて、沢山の方にふるさと秋まつりにご来場いただき、ありがとうございました。当日は天候に恵まれ盛況だったと、多くの方から言葉をかけていただきありがたく思っています。今年の目玉は9店舗のキッチンカー等の導入です。長蛇の列ができて繁盛していました。

イベントを開催するにあたり、多くの方にご協力をいただき皆様に感謝するところです。



407



81



42



須津ふるさと秋まつり

ドクターイエローとフルーツレインの競演



ビンゴ大会にはたくさんの方が



第9分団による消防車乗車体験



初お目見えのキッチンカー



かずやさんの大道芸
みこもなジャグリングに大喝采



盛り上げ役の伊藤センター長



やさしい町内会長さんに
子どもたちも笑顔いっぱい



須津古墳群は今、全国から注目されています



千人塚古墳の西側にある古墳の石室見学



千人塚古墳の見学



千人塚古墳（市指定）は令和七年度中に古墳公園になります

須津古墳群とは

須津川周辺に存在する浅間古墳、千人塚古墳、琴平古墳の3基の指定古墳を含めたおおよそ209基の古墳のまとまりをいう

ポイント1 千人塚古墳を中心に西側に残る石室も整備されます

ポイント2 誰もが気楽に須津古墳群や愛鷹山麓全体の古墳群について学ぶ場所として整備されます



浅間古墳（国指定）はさらには調査が進み、当時の姿に近づけるようになります

佐藤祐樹

文化財課



8月21日、須津まちづくりセンターにて令和五年度第一回「富士市史跡保存整備推進委員会」が開催されました。今後、浅間古墳をどのようにに次世代に継承していくのか、という計画策定について協議しました。
全国から集まった専門家の先生方も、「このような委員会に傍聴人として地域の方々が参加してくれているのは初めてで、地域の方々の熱気を感じます」と仰っていました。
これからも、地区の方々に応援していただけるような古墳の整備を進めていきたいと思えます。
よろしくお願ひします。

浅間古墳のつくり方や、土器の発見により、築造時期が明らかになります



第1回「富士市史跡保存整備推進委員会」の様子

- | | |
|-------|----------------|
| 禰宜田佳男 | 大阪府立弥生文化博物館 館長 |
| 若狭 徹 | 明治大学文学部 教授 |
| 滝沢 誠 | 筑波大学 人文社会系 教授 |
| 高橋知奈津 | 奈良文化財研究所 主任研究員 |
| 池谷 初恵 | 富士市文化財保護審議委員 |
| 望月 秀一 | 須津小学校 校長 |
| 畔柳 修 | 浅間神社 氏子総代 |
| 鈴木 英之 | 須津ふるさと愛好会 会長 |

傍聴席には10人の地域の方が参加

森田教育長 市議会答弁

森田教育長は、須津古墳群の国指定史跡について本年度設置した「富士市史跡保存整備推進委員会」やオプザーバーとして参加している文化庁および県の意見を聞き、浅間古墳の整備後、国指定を目指すとした。6日の市議会9月定例会で荻田丈人（心政富士）の一般質問に答弁した。
「庁内組織を立ち上げ、定期的な情報交換を行い、SNSを活用した効果的な文化財情報の発信や、須津古墳群を中心に古墳を巡るサイクルツーリズムなど、各部署の強みを生かした連携を図り、須津古墳群の価値をさらに高めるための新たな取り組みを進めていく」と述べた。

富士ニュースより

おすすめよう 地域ぐるみによる 須津古墳群の魅力発信

シリーズ夢を創る



元朝日放送 コンテンツ事業課長

中村大輔さん(故人)

慶應義塾高等学校の107年ぶりの優勝に沸いた今夏の全国高校野球選手権大会。この大会を、地方大会からライブで、且つ無料で見られる「バーチャル高校野球」をご存じだろうか。この驚異的なイノベーションの立ち上げに大きく貢献した人物が、須津で生まれ育った中村大輔さんである。

中村さんは、高校・大学と野球に打ち込んだ。朝日放送入社、報道記者時代を経て、コンテンツ事業に関わる。スマートフォン等の端末でも楽しめる高校野球のサイト立ち上げに尽力し、そのプロジェクトリーダーとして2015年「ソーシャルテレビアワード大賞」を受賞するにいたる。

中村さんを知る人々は、彼の変わらぬ野球愛、野球の力を信じる情熱を語る。高校野球が本来持つ価値が分かる中村さんだからこそ、この事業化を成功に導くことができたのではないだろうか。

しかし、中村さんは2021年突然帰らぬ人となる。侍ジャパンの栗山監督が、墓参に東光寺へいらっしやっている。中村さんの業績を尊び、悼む監督の思いが伝わる。

(記 I・H)



須津のれきし探訪 (シリーズ第20回)

須津と江戸 I 須津地区の「殿さま」⑧ 中里村の殿さま② 戸田氏④
杉本 寛郎 (富士山かぐや姫ミュージアム学芸員)

旗本戸田氏は、宝永七年(一七一〇)から江戸時代が終わるまで中里村の殿さまでした。慶応四年(一八六八)江戸幕府が倒れ、戊辰戦争がはじまると、新政府軍は旧幕府軍を圧倒し、江戸へ攻めるために東海道を東へ進軍しました。このとき中里村、戸田氏の領地十二村の名主は、中里陣屋の戸田氏家臣に「このような情勢でこの先どうなるかもわかりません。これまで私たちが十二村の百姓は殿さまのおかげで無事に過ごすことができました。万一のときには私たちが殿さまのお世話をしますので、こちらにお越しくださるようお伝えください」と伝えました。これを受けてそのときの殿さま・戸田松三郎は中里村に身を寄せ、駿府(静岡)まで進軍していた新政府軍に恭順の意を示し、江戸にいた家族や家来も中里へ呼び寄せました。江戸時代を通じて中里村に来ることがなかった殿さまでしたが、百姓たちと殿さまは身分の差はあっても良好な関係で、そして大事にしていたことがわかります。江戸時代が終わるとき、初めて殿さま・戸田氏は中里村を訪れたのでした。

わたしのふるさと

私は高校を卒業するまで、十和田湖のすぐ南にある秋田県小坂町に住んでおりました。昔は鉱山で栄えた町です。世界有数の溶鉱炉があり、今はスマホやパソコンなどを溶かしていろいろな金属を取り出しています。

故郷を離れて半世紀近く経ちますが、今でも美しい景色が脳裏に浮かびます。吸い込まれるような青い空。降るような満天の星々。単線の電車から眺めた山奥の秋の美しい色彩、白い川筋を流れる水色の透き通る水とその上に張り出す枝との調和。一度、十和田湖で神秘を見ました。雨上がりの厚い雲の下、湖のこちら側が底から光るようなエメラルドグリーン輝きの輝き! きれい! あれはどんな現象だったのでしょうか。

昔は山奥の美しい自然に囲まれ、そして今は北に麗峰富士、南に駿河湾を望めます。こんなに風光明媚な場所に恵まれ、何ってラッキー!

by A・I (中里 I)



編集後記

J2モンテディオ山形と藤枝MYFCの試合をモンテ陣地で応援。観客席を増やす工事中であった。宿泊すれば三千元引きというサービスも。蹴球都市としての覚悟をモンテファンが山形訛りで褒めていた。

～ふるさとのなまりなつかし藤枝のサッカー場に
そを聴きに行く～
チェリー

須マイル編集スタッフ、カメラマン大募集

興味のある方は、須津まちづくりセンター (34-0004) へ連絡ください

